

事業名	佐倉っ子塾 伝統文化体験講座				
ジャンル	家庭教育 ・ 青少年教育 ・ 成人教育 ・ 団体育成				
事業分類	実際生活に即する教育 ・ 学術及び文化に関する各種の事業（社会教育法第20条「公民館の目的」より）				
事業意図	住民の教養の向上 ・ 健康の増進 ・ 情操の純化（社会教育法第20条より）				
事業目的	生活文化の振興 ・ 社会福祉の増進（社会教育法第20条より）				
日程	(1) 令和6年 7月20日(土) (2) 令和6年 8月 2日(金) (3) 令和6年12月20日(金)	講師	(1) 和田はたおり保存会 (2) 手芸教室講師及び生徒 (3) 中央公民館職員	参加費	(1) (3) 無料 (2) 300円
対象者	(1) 市内小学3年生～中学生 とその保護者 (2) 和田小学校児童 (3) 和田小学校4・5年生（授業）	参加者数 (延べ)	(1) 19人 (2) 8人 (3) 11人	募集方法	(1) 広報誌 (2) 和田小学校児童の保護 者へ周知
趣旨	身近で親しみやすい伝統や文化等の体験学習を通じて創造力を育む。				
内容	(1) はたおり親子体験 (2) 夏休み手芸体験教室 (3) しめ飾り講習会（和田小学校4・5年生11名を対象に授業で実施）				
工夫	①地域の伝統文化を題材とし、地域の伝統文化の発信や次世代への伝承を行っている。 ②地域で長く活動する団体等に講師としてご活躍いただきながら、地域や世代間の交流を行っている。				
成果	身近で親しみやすい伝統や文化を体験することにより創造力を育むことができた。地域の伝統文化を題材とすることで地域の伝統文化の発信や次世代への伝承を行うことができた。また、地域で長く活動する団体等に講師としてご活躍いただきながら、地域や世代間の交流が図れた。				
課題	高齢化率の上昇及び地区の児童数（若年人口）の減少により、事業を支える団体の育成（維持）や安定した参加者の確保が課題である。				

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	・ 公民館が行う必要があるか。 ・ 市民や利用者のニーズに合っているか。 ・ 目的や役割が薄れていないか。 ・ 事業の休止・廃止した場合の影響は大きいのか。
優先性	A	・ 事業の優先度は高いか。
公平性	A	・ 対象者に情報は流れているか。 ・ 受益者負担はあるか(実費・教材費)
有効性	B	・ 期待通りの成果が得られているか。 ・ さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。 ・ 市民の満足度は高いか。
効率性	B	・ 事業の効率性はどうか。 ・ 事業運営に学習者が参画しているか。 ・ 他事業との統合は考えられるか。
総合評価	B	A：適切で成果が得られている。 C：課題あり、成果があまりない。 B：課題あり、成果はある程度ある。 D：成果が得られていない。
特記		

《凡例》
良い ← A B C D → 良くない

《判定例》
 A } A B } A A } A A } A or B
 A } A B } B A } B B }

次年度展望	②	①：事業拡大 ④：目的達成により終了	②：現状規模で継続 ⑤：統合・改善・その他	③：事業縮小
-------	---	-----------------------	--------------------------	--------

☆公民館運営審議委員付帯意見

(A：適切で成果あり B：成果はあるが、改善の余地あり C：要改善)

委員①		
総合評価	B	講師の活躍の場として、また伝統の継承の場として有効である。先の発展として受講した若年層の活用（次年度から運営や講師の手伝い、講評等として）について考えてみてはいかがか？

委員②		
総合評価	A	学区の和田小学校は小規模特認校に指定されており、例年地域の子供たちをうまく取り込む形で、地域の学びを深めようという企画が見られます。今年度は体験型の伝統文化の学習企画でした。た。前回の評価用紙に、「比較的若い年齢層が参加しやすい内容を」と記載した記憶がありますが、参加人数を見ると一定の効果があつたのではないかと思います。また、授業ともからめて実施されたことは、小学校側にとってもありがたい企画だったのではないのでしょうか。（2）は夏休み真っ只中ということもあり、参加者が一けたになってしまったのかもしれませんが。

委員③		
総合評価	A	子供向けの作品作りは、1,2回で完成は難しくので時間をかけた方が良い。土日ではなく、小中生については、平日の総合学習ではどうか。

委員④		
総合評価	A	和田地区の伝統的な生活用様式を主に和田小学校の子供たちに伝えていく事業だと思う。それはそれでいいとかがえられる。

委員⑤		
総合評価	A	

委員⑥		
総合評価	A	和田地区の文化や背景を体験する講座する講座は、次世代への伝承目的に沿った内容であることが、十分認められます。体験内容も興味深く、目的である生活文化の振興に即した事業の継承を望みます。

委員⑦		
総合評価	B	3事業のうち、とりわけ機織りとしめ飾りは、地域の伝統に根付く項目で、農業を主幹産業とする和田地区ならではの事業といえます。単発、短時間の内容でどれだけの成果が得られるかどうか、たとえ一度きりの体験であっても感性豊かな子どもたちにとって、忘れがたい経験として心の中に記録されると思います。修学旅行や校外学習のねらいと同じようなもので、それぞれの人生の折りにふれ、必要な時に体験の記憶が蘇える人もいます。織物業や民芸品作家を養成するわけでもなし、何に役立つかは一人ひとりの閃きに委ねるべきでしょう。実際の体験作業も大切ですが、併せて背景にある地域の歴史や伝統について伝えることも大切でしょう。このような事業が可能なのは隣接する小規模特認校の和田小との関係以外にあり得ません。学校教育を補完、支援する公民館事業としてさらなる連携のあり方を模索して欲しいと思います。

委員⑧		
総合評価	A	和田公民館ならではの学びを提供することの大切さを感じました。この取り組みを繋いでいくためにも、年齢・性別に限らず何度でも参加できるようにしていただけたらよいと思います。歴史ある伝統文化は公民館が守るものの一つでしょう。

委員⑨		
総合評価	B	

委員⑩		佐倉に伝わる伝承文化を伝える大事な事業と思います。毎年行われている同企画ですが、団体育成の為に企画にならないようにお願いをしたいと思います。
総合評価	A	

委員⑪		地域に伝わる工芸・文化を子供達に経験させることは大変有意義です。今後も継続して下さい。今後の展望として、地元産の稲藁で子供達が造った「しめなわ」が正月に各家に飾られれば、地域の活性化になるのではと期待しています。
総合評価	A	

委員⑫		今回は何れの講座も日程が合わず、視察参加できなかったので詳細は不明であるが、旧来からの継続性や現参加者数・担当者の説明等に拠れば適切で成果のある講座だと思われる。なにより講座内容は公民館所在地の特色を活かしたものであり、伝統文化を同地で体験するスタンスは高く評価できる。機織りなどは寧ろ開催回数を増やし、成人向けのレベルの高い内容にする事により、応募も増え継承者育成の点からも良いのではないだろうか。
総合評価	A	

委員⑬		和田公民館ならではの講座です。伝統文化の体験ができるのは素晴らしい。冬休みの講座も増やせるといいですね。「お飾り作り」等。
総合評価	A	

委員⑭		有効性の向上 ・参加者アンケートなど実施し、満足度や意見を把握する。 ・事業の具体的な成果目標を設定し達成度を検証する。 ・講師の専門性向上や、プログラム内容の充実を図る。
総合評価	B	

委員⑮		和田のはたおりは有名です。他の地区にも伝えてほしいのと子供達に伝え残すという意味で実施された事、毎年続けてほしいと思います。
総合評価	A	